

育ちと学びをつなぐ

プールでの水遊びや学習が始まり、夏の到来を感じる季節になりました。1年生は、運動会や遠足等の経験を通して、一層たくましく成長してきていることでしょう。



幼保小接続期研修会 本郷台小学校 「1年生公開授業・研究会・講演会」

5月28日(月)に接続期研修会が開催されました。午前中は、幼児期の経験や学びの芽生えを生かしてどのように小学校での自覚的な学びへつないでいくかの授業公開をしました。今年度は、スタートカリキュラムで学び2か月が過ぎた子どもたちが、どのような問題意識をもって解決を図ろうとしているかについて、カリキュラムマネジメントの視点からも発表しました。

午後からは、横浜国立大学教育学部教職大学院 教授 大内美智子先生に、本郷台小学校のスタートカリキュラムと当日の授業について講評をいただきました。その後、元文部科学省初等中等教育局 主任視学官 嶋野道弘先生に「学びの芽生えと自覚的な学びをつなぐ」という演題でご講演をいただきました。

<授業の様子>



なかよしタイム

朝のしたくは自分でやり、すぐに自由遊びを始めます。校歌が流れると片付けを始め、校歌が終わるころにはきれいに片付けています。クラス全員でのゲームも、先生がリードするのではなく自分たちで進めています。

わくわくタイム

学校探検で出会った方たちのことを「もっと知りたい」という思いをもち、今日も探検に出かけます。



生活科の学校探検で出会った方々を中心に国語や算数、道徳の時間が展開されていきます。



ぐんぐんタイム 国語

「だれがいますか。」「技術員の〇〇さんがいます。」・二人組で問答します。



ぐんぐんタイム 算数

探検で出会った先生方の写真をきっかけとして数の学びが始まります。



ぐんぐんタイム 道徳

自分たちの生活が多くの人々に支えられていることに気付きます。



ベランダの植木鉢には、2年生からもらった種を、自分たちで選んでまいています。あさがお、ひまわり、おじぎそう、おしろいばな、ふうせんかずら、コスモスです。登校すると、自分の鉢に水やりし、成長を喜んでいきます。鉢を置く場所も、自分で決めています。

研究会での講評 横浜国立大学教育学部教職大学院 教授 大内 美智子氏

講演会 「学びの芽生えと自覚的な学びをつなぐ」

元文部科学省初等中等教育局 主任視学官 嶋野 道弘氏

大内先生のお話

○学習の終わりに、分かった事をまとめるのと振り返りは違い、深い学びにつなげるには、子ども自らが見通しがもてるようにするとよい。主体性も生まれてくる。

嶋野先生のお話

○遊びのように見えてそこに学びがある。保育者教育者としてあるがままの子どもを見ていくことが大事である。

○自立に向かう時⇒快の感情が生まれる

○教科のまとめでは振り返りが大事で、生活科の振り返りは、学びを定着させ、自分の成長を実感するものである。

○タイムを作るだけではなく、それぞれのよさを生かすことが大事である。

アンケートより

○よく聞かれる学校探検でなく「せんせいたんけん」という発想が素晴らしいと思いました。

○入学時から子どもと学びの芽生えを丁寧に見とってきた成果を感じる事ができました。

○生活科を核にして、横断的に各教科の学習に結びつけるという意識をもつことが大切だと感じました。

○国語や算数などの教科の学習が、生活科の単元と自然に結びつき、学びを深められていて素晴らしいと思いました。

○卒園した子どもたちが、生き生きと生活している姿を見て、安心しました。

平成30年度 幼保小教育連携研修会開催のお知らせ

テーマ「学びに向かう力を育む保育・教育」 ～横浜版接続期カリキュラムの活用～

第1日 全体会 7月24日(火) 新都市ホール(そごう9階) 13:30～16:45

講演会 講師 白梅学園大学大学院 特任教授 無藤 隆 氏

実践報告・シンポジウム 横浜版接続期カリキュラム作成委員

第2日 分科会 7月25日(水) ウィリング横浜(上大岡オフィスタワー)

午前の部 9:30～12:30

午後の部 13:30～16:30

言葉部会・表現部会・特別支援教育部会

健康部会・人間関係部会・環境部会

詳しい内容や参加申込みは、各園・学校へ送付します案内をご覧ください。なお、こども青少年局 保育・教育人材課のホームページにも掲載してあります。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/jinzai/>